



第 20 回ランニング学会大会 in 群馬 ご案内

時下、ランニング学会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、第 20 回大会を別紙のごとく 2008 年 3 月、群馬大学（前橋市）にて開催することになりました。大会テーマは、「ランニングの過去・現在・未来」です。学会大会 20 周年を記念して、設立から今回までの歴史を振り返るとともに、今後のランニングの世界を少々長いスパンで考えてみたいと思います。

群馬は、関東平野の北限である赤城山麓と利根川に挟まれた自然に富んだ街です。大学キャンパスは学会大会が開催される時期において、桜が満開となり、近くには松林や公園、川沿いの道などがあり、おのずと走りたくなる環境があります。そして、少し足をのばせば、伊香保、草津などの名湯もあります。まさにランニングに相応しい風土です。

交通的にはやや不便ですが、春の新鮮な風を求めてお出かけください。

是非、多くの会員の皆様にご参加いただき、実り多い学会大会となることを祈念し、ここにご案内申し上げます。

2007 年 12 月

第 20 回ランニング学会大会
大会長 山西哲郎

第20回ランニング学会大会参加申込用紙 (Fax用)

Fax: 027-220-7322

氏名 (ふりがな)	年齢	男・女	所属
住所 〒			ランニング学会 会員 ・ 非会員
TEL	Fax	e-mail	
第20回ランニング学会大会 参加 ・ 不参加	学会総会 参加 ・ 不参加	ランニング大会(最終日) 参加 ・ 不参加	
懇親会 参加 ・ 不参加	宿泊施設紹介希望 なし ・ 3/28 ・ 3/29		
お弁当希望 なし ・ 3/29 ・ 3/30	一般研究発表 しない ・ A発表する ・ B発表する		

○参加費などの振込は下記の口座へ2月1日(金)までをお願いします。

参加費: 正会員(3日間共通) 4,000円 学生会員(3日間共通) 2,000円 非会員(3日間共通) 6,000円

懇親会費: 4,000円

お弁当代: 1,000円/食 × ()食

合計 : _____ 円
 ※振り込み人が異なる場合の振り込み人の氏名 : _____

振込先: 郵便局

口座番号: 00190-4-502610

口座名称: 第20回ランニング学会大会事務局

銀行

群馬銀行 前橋北支店 (店番号113)

普通 0856775

口座名: 第20回ランニング学会大会事務局 西田順一

(ダイ20カイランニングガッカイタイカイジムキョク ニシダジュンイチ)

※事前申込は、平成20年2月1日までに上記口座へお振り込み下さい。
 以降は当日受付となります。

総会欠席の場合の委任状

私は第20回ランニング学会総会を欠席しますので、議事の全てを、

_____ 氏に委任します。

平成 年 月 日

署名 _____

第20回ランニング学会大会 in 群馬

The 20th Society for Running in Gunma



ランニングの過去・現在・未来

会期：2008年3月28日(金)～30日(日)

会場：群馬大学荒牧キャンパス、前橋テルサ

＜開催趣旨＞

世界で唯一のランニング学会大会20回を記念して、「ランニングとは何か、いかに走るか、いかに楽しむか」をテーマに、市民ランナーからチャンピオン、指導者、研究者とともに、大いにランニング学を学びたいと思います。

ランニングを愛好する人なら、どなたでも大歓迎です！



ピーター・スネル(1964)

- 海外招待講演 ピーター・スネル (New Zealand)
(ローマ五輪800m, 東京五輪800m・1500m金メダリスト, 運動生理学者)
- 市民公開講座
「マラソン風土 日本」宇佐美彰朗・瀬古利彦・中山竹通・山下佐知子 他
「マラソン風土 群馬」磯端克明・諏訪利成・中村孝生・花田勝彦 他
(上記予定 / 敬称略・50音順)

主なスケジュール

3月28日(金) 14:00～20:30 会場:前橋テルサ	3月29日(土) 9:00～17:30 会場:群馬大学 荒牧キャンパス	3月30日(日) 9:00～15:30 会場:群馬大学 荒牧キャンパス
若手研究者シンポジウム 市民公開講座	研究発表、基調講演 キーノートレクチャー 海外招待講演 ワークショップ	研究発表、基調講演 シンポジウム ランチョンセミナー ランニング大会

主催：ランニング学会

後援：群馬県、群馬県教育委員会、群馬陸上競技協会、上毛新聞社、群馬テレビ
申込・お問合せ：山西哲郎(群馬大学教育学部：大会会長)

TEL / FAX:027-220-7322

E-mail: yamaken@edu.gunma-u.ac.jp

*興味・関心のある方はコチラへアクセス！→<http://www.e-running.net/>

第20回ランニング学会大会 in 群馬 海外招待講演のご案内

東京オリンピック金メダル獲得以来、44年振りの来日!

講演者:ピーター・スネル(Peter Snell, Ph.D.)

日時:平成20年3月29日(土) 13:30~15:30

会場:群馬大学荒牧キャンパス ミューズホール



<プロフィール>

- 戦後唯一の中距離クラシックダブル達成者
- オリンピック800m走 二大会連続金メダル

100年余におよぶオリンピックの歴史において、800m、1500mのクラシック・ダブルを達成した栄えある選手は、第1回アテネ大会からたった5人、第二次大戦後ではたった1人しかいない。その最後の快挙は、1964年、東京オリンピックにおけるニュージーランドのピーター・スネル選手によって成し遂げられた。スネルは、また、2人しかいないオリンピック800mの二連勝を成し遂げたうちの1人でもある。

■ 『リディアード方式』のトレーニング

1950年後半から60年前半、中距離のトレーニングといえば、トラックで200m、400mのスプリントを繰り返す、インターバル・トレーニングが主流であった。ニュージーランドの名コーチ、アーサー・リディアードは、そんなスネルに、1週間に100マイル(160キロ)、毎週末には起伏の激しい22マイル(35キロ)の長距離走を課した。リディアードの走り込みによるスタミナ造りのカギは、『疲れを知らない体力』をつけることによって、持てる力の最大のスピードでラストの200mを突っ走れることを可能にすることにある。

■ 『第2の人生』:運動生理学者

競技生活を終えたスネルは、34歳にしてアメリカに渡り『第2の人生』を始める。当時、まだ高校の卒業資格しかなかったスネルは、UCLAに入学、その後ワシントン州立大学で運動生理学の博士号を獲得、現在に至るまでの30年近く、アメリカの屈指の運動生理学者として、テキサス大学(The University of Texas Southwestern Medical Center at Dallas)で活躍している。